2022/01/14 のメールより・・・「ポジショニングマップ案」の概略と「ロードマップ案」の【Aプラン】と【Bプラン】について

※会の名称は、前回の「山口サイクリングプロジェクト研究会」からフランス語の自転車に、多様性という意味を重ねた、「ヴェロマルチ山口」へと変更していますが、仮称ですので何か良いアイデアがあればお願いします。

ーーーーー＜＜＜(仮称)ヴェロマルチ山口＞＞＞ーーーーー

●目的／最も身近な市民の足であり、第一回近代オリンピックから正式種目、そして世界一周の相棒にも選ばれている、多様に楽しめる自転車。しかし日本の実情は昭和から変わらず、走行環境の法的根拠も曖昧。そう言った自転車の走行環境を、ハード・インフラ・ソフト・ハートの４要素で考える、ユーザー＋ショップ＋地域が三位一体となった、“地域貢献型マルチサイクリングクラブ”は、「情報発信」「人材交流」「提案型ソフト」を三本柱に、日常利用とスポーツ利用の架け橋となり、自転車市民権獲得を、先行山口として目指すものです。

●組織・活動／目的の達成のため、下記の組織を有し、必要に応じて、イベント情報誌の発行や、提案型イベント等を行います。

◎理事会／代表理事１名、副代表１～２名、事務局４～１０名、分科会５～１０名、顧問３～５名

⇒情報誌編集に合わせて理事会を行う。

◎事務局／広報、企画渉外編集（西部、県央、東部)、総務、会計

⇒主に三本柱の『情報発信』を担当。

◎分科会／交流１（ソフト＆ハード)、交流２（ハード＆インフラ)、事業（セルフ・架け橋・混淆・他）

⇒三本柱の『人材交流』と『提案型ソフト』を担当。

○外局（提案型ソフトで法的根拠が曖昧なものに対応する外部組織）

／街道、山道、町の道、ザッピング、チョイス、架け橋、他

⇒『提案型ソフト』は玉石混淆の見極めが必要で、外局では、グループサイクリングや山道走行、ツーリングコンペティション等を扱う。また地域と広域の守備範囲を考えながら外部顧問も置く。

●設立・申請・Aプラン・Bプラン・二年跨ぎ／前回の申請で不採択の理由が、立ち上げに向けた設立準備委員会だったので、今回は正式立ち上げが必要条件となります。しかし十分条件ではないため、可の場合の【Aプラン】と、否の場合の【Bプラン】も想定したいと思います。

◎設立／発起人と設立総会と零プラン

⇒発起人：設立趣意書を作成し、１月中に１０～１５人へ依頼。

⇒設立総会：発起人の同意を全会一致か、書面で得る。３月中旬までに。総会は、審査結果の確定後に行う？

⇒零プラン：添付書類用のフリーペーパー零号(3/20 発行予定)の情報収集と、西部、県央、東部での夏秋の模索企画の仕込みやロゴマーク協賛依頼。

◎申請／３月末締め切り～５月中旬交付式（※前回提出書類等）

⇒申請書類（※申請書、団体概要書、事業計画書、事業収支予算書）

⇒添付資料（※役員名簿、規約、予算書、模索企画資料、フリーペーパー零号）

※参考ページ：https://bikejoy2.web.fc2.com/ICD_SSK.htm#1

◎Aプラン／予算あり

⇒総会／出来れば交付式後、５月中に開催。

⇒フリーペーパー／予算に合った体裁を考え、夏秋号、冬号、春号を作成。　※サイクルショップ＆サイクルステーションに配布。　※ロゴマーク広告への協賛依頼。

⇒模索企画１／西部・県央・東部のステーション＆ショップを巡るコマ地図ブルベ。

⇒模索企画２／西部・県央・東部の過去実施済みエリアでの学習トレジャー２６。

⇒模索企画３／ライセンスメンバー募集。

⇒その他／西部・県央・東部に分けた情報収集＆連携協力ネットワークの整備。

◎Bプラン／予算ナシ

⇒総会／時機を見て年内に実施。

⇒フリーペーパー／Ａ３裏表版として、ロゴマーク協賛の範囲で秋号を作成。その様子を見て冬号、春号を検討。　※有料配布を検討し、協力施設に限定配布？

⇒模索企画１／協力ステーションや協力ショップの有無を見極めて検討。

⇒模索企画２／他団体と連携が可能なら実施を検討。※例：廃校再生サミット山口

⇒模索企画３／総会で詳細を検討した上で。※その他のネットワーク整備も同様。

◎二年跨ぎ／助成金や行政や学校は年度で動いているが、そこには微妙なズレがある。日常利用とスポーツ利用の架け橋となる「春需でソフト」をカバーするには、それを見越した年度跨ぎ企画が必要？「模索企画３」を組み立てる際、または、2022 総括で検討する。